

④事務部門での ICT（勤怠管理・スケジュール管理）グループ（7）

各事業所でやっている取り組み

勤怠作成の IT 化

①導入していない（勤怠システムがない）

→現在 20 名程度を管理職が作成（アナログ） → 勤務調整が大変

②シフト君＋アナログ

→システムを入れても全てを調整できなかった

→各職種の配置基準を確立するため（例：様式 9）

③出勤簿を利用（2 施設）

④給与明細：電子化が 1 施設、紙が 3 施設

他の事業所へ聞いてみたいこと

- ・シフト君利用 → 各統計が取得できる
- ・残業管理：紙での管理（上長管理） 4 施設
- ・給与管理：電子化、紙
- ・連絡ツール：電子カルテ（掲示板ツール利用） 2 施設

G セッション、ラインワークス

その他、情報共有